

防災訓練をしました！！

いきる！防災訓練2013 ～災害時に生きぬくため、活かせる知識を身につけよう～

日本各地で地震等の災害が増加する中、外国人住民は私たちが想像する以上に大きな不安を抱えています。地域社会の一員である彼らを災害弱者にしないために、香川県国際課との連携のもと、大規模災害発生時から避難所での生活が長期化する頃までを想定した防災訓練を実施しました。

おかげさまで多くの団体からのご理解とご協力を得ることができ、参加者数は定員150名をはるかに超える201名(うち外国人数:172名)となりました。今回は、その訓練の様子をレポートします。

第1回 防災・災害時訓練 11月23日(土) @香川県防災センター・香川県消防学校 参加者:12か国61名(53名)

地震・暴風・消火・煙避難体験、非常食試食、心肺蘇生、応急手当(骨折の固定法)、119番通報、徒手搬送、担架作り



火を消す



非常食を食べる



人の命を助ける



楽に安全に人を運ぶ

第2回 避難所訓練 12月15日(日) @アイパル香川 参加者:13か国66名(62名)

○香川の災害を知る(避難所の場所の確認) ○避難所を体験する(物資の分配、非常食の調理、ダンボールのパーテーション設置、ダンボールのトイレ作り、非常持出袋の確認) ○講演(過去の災害から学ぶ)



机の下に隠れる



ダンボールのパーテーションを立てる



ダンボールでトイレを作る



非常持出品を考える

第3回 多言語支援センター開設訓練 1月19日(日) @アイパル香川 参加者:12か国74名(57名)

○講義(多言語支援センターの役割について) ○防災の日本語講座 ○多言語支援センター開設訓練

※多言語支援センターは、災害時に外国人被災者に対して多言語によるサポートを行う機関。そのセンターがアイパルに設置されたという想定のもと、支援者チームと被災者チームに分かれ、多言語による情報提供や聞き取り調査などの実践的な訓練を行った。



災害時のニュースの漢字読めるかな？



支援者チームの準備の様子



支援者チームによる聞き取り開始



被災者チームは待ち時間にスリッパ作り

訓練実施後、外国人の参加者からは、「実用的で役立つ知識が得られた」「不安が解消された」という感想から、「常に避難の準備をしておきたい」「災害が起きたときどうするか家族と話し合っておきたい」「地震があったら避難所に行く」など、これからの行動につながる意見が聞かれ、研修の効果を実感することができました。また、支援ボランティアからは、「情報伝達の難しさを知った」「自分にできることが何かを考えたい」といった感想が寄せられました。

双方から「楽しかった」「また参加したい」という声が多く聞かれたことから、今回の訓練が国籍や年齢を超えた交流の場ともなったことも分かりました。

…大好評だった今回の防災訓練。来年度以降もなんらかの形で、継続的に実施していきたいと考えています。是非ご参加ください。

